

手水舎

住吉大社は卯の日、卯の月、卯の年に創建されたことから、境内のいたるところにウサギのデザインが施されている。その中でも特に有名なのが、反橋を渡って住吉に入る道の左手にある手水舎の上にある石の彫刻のウサギである。ウサギの口からは水が流れ出ている。

多くの神社では、境内に入る前に身を清め、神に祈りを捧げるために、入り口付近にこのような泉が設置されている。泉水を使うには、右手で柄杓を持つ。水盤から水をすくい、その水で左手をすすぐ。柄杓を左手に持ち替えて、右手をすすぐ。次に、柄杓から少しの水をカップのように丸めた左手に注ぎ、口をすすぐ。水を水盤の横の排水場に吐き出す。最後に、柄杓を傾けて残った水を柄の部分に伝わせ排水場に流す。